

## 参入企業と連携した地元希少食材の特産化に取り組んでいます

奥能登農林総合事務所

平成28年春、前年に穴水町に参入した(株)ミスズライフ（以下、ミスズ）から、「地域食材を利用したベビーリーフの商品開発に取り組みたい」との要望がありました。

これを受け、当事務所では管内の食材を検討し、穴水町下唐川集落の希少食材である在来のカラシ菜を提案しました。そして、農業試験場の協力を得て試食会を行った結果、カラシ菜がベビーリーフの材料として有望なことを確認しました。

そこで、下唐川集落での地元説明会を企画・開催し、カラシ菜をベビーリーフに利用したいというミスズの意向を集落に伝えました。その結果、ミスズによるカラシ菜の使用（栽培・販売）について集落の同意を得ることができ、種子の生産・供給についても、無理のない範囲で集落が協力することとなりました。

さらに、ミスズから「カラシ菜の特産化における自社の販売網の活用」の提案があり、これまで自家消費だけであったカラシ菜の特産化（青果、漬物等）を地域活性化やPRにつなげようと、集落の関心は大いに高まりました。その結果、集落ではこの取組を一層盛り上げるため、カラシ菜を「唐川菜（からこな）」と名付け、有志による「盤持ちの里 唐川菜の会」を立ち上げました。

※盤持ち：下唐川集落で毎年10月に行われる米俵を用いた力試し大会

当事務所は、春から夏にかけては唐川菜自生株からの採種作業を支援し、秋には耕作放棄地や休耕田を利用した採種圃及び青果販売・加工方法検討のための実証圃の設置作業を支援することで、今春からの地元JA直売所での試験販売を目指しています。今後も引き続き、企業と地域をつなぐコーディネーターとして、この取り組みを支援していきたいと考えています。



地元説明会



採種用株の刈取り



唐川菜の種子

問い合わせ先：奥能登農林総合事務所 農業振興部

(0768-26-2323)